



機能、テンプレート、サービス、 およびユーザの設定

Cisco IP Phone をネットワークに設置し、ネットワーク設定値を設定し、電話機を Cisco CallManager に追加したら、Cisco CallManager Administration アプリケーションを使用して、テレフォニー機能の設定、電話テンプレートの変更（オプション）、サービスの設定、およびユーザの割り当てを行う必要があります。

この章では、これらの設定手順の概要について説明します。手順の詳細については、Cisco CallManager のマニュアルを参照してください。

機能に関する情報をユーザに提供する方法、および提供する情報については、[付録 A「Web サイトを使用したユーザへの情報提供」](#)を参照してください。

英語以外の環境で電話機を設定する方法については、[付録 B「各言語ユーザのサポート」](#)を参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [電話機で使用できるテレフォニー機能 \(P.5-2\)](#)
- [社内ディレクトリとパーソナルディレクトリの設定 \(P.5-9\)](#)
- [電話ボタンテンプレートの変更 \(P.5-11\)](#)
- [ソフトキーテンプレートの設定 \(P.5-12\)](#)
- [サービスの設定 \(P.5-13\)](#)
- [Cisco CallManager へのユーザの追加 \(P.5-14\)](#)
- [ユーザ オプション Web ページに表示されるオプションの指定 \(P.5-15\)](#)

電話機で使用できるテレフォニー機能

Cisco IP Phone を Cisco CallManager に追加したら、電話機に機能を追加できます。表 5-1 は、サポート対象のテレフォニー機能のリストを示しています。これらの機能の多くは、Cisco CallManager Administration を使用して設定できます。「設定の参照先」の欄は、設定手順や関連情報が記載されている Cisco CallManager のマニュアルを示しています。

電話機でテレフォニー機能を使用する方法については、『Cisco IP Phone 7970 Series Guide』を参照してください。



(注)

Cisco CallManager Administration には、各種テレフォニー機能の設定に使用できるサービス パラメータも用意されています。サービス パラメータの詳細、およびそのパラメータによって制御される機能の詳細については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

表 5-1 Cisco IP Phone のテレフォニー機能

| 機能 | 説明 | 設定の参照先 |
|------------|---|--|
| 固定短縮ダイヤル機能 | ユーザは最大 99 個の短縮ダイヤル エントリを設定できます。電話機の短縮ダイヤル ボタンに割り当てられていない短縮ダイヤル エントリは、固定短縮ダイヤル機能に使用されます。ユーザが電話番号のダイヤルを開始すると、[短縮] ソフトキーが表示されます。ユーザは適切なインデックスを入力することによって、短縮ダイヤル エントリにアクセスできます。 | 固定短縮ダイヤルおよび短縮ダイヤルについては、 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 |
| 自動応答 | 着信コールを受信すると、スピーカフォンまたはヘッドセットが自動的にオフフックになります。 | <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 『Cisco CallManager 機能およびサービスガイド』を参照してください。 |

表 5-1 Cisco IP Phone のテレフォニー機能（続き）

| 機能 | 説明 | 設定の参照先 |
|-----------------|---|---|
| 割り込み | <p>ユーザが、共有回線で進行中のコールに参加できます。電話機は、割り込みを次の2つの会議モードでサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ターゲット デバイス (割り込まれる電話機) での組み込み会議ブリッジ。このモードでは、[割り込み] ソフトキーが使用されます。 共有会議ブリッジ。このモードでは、[C 割込] ソフトキーが使用されます。 | 『Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド』を参照してください。 |
| 外線コールの外線転送のブロック | ユーザが外線コールを別の外線番号に転送することを禁止します。 | 『Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド』を参照してください。 |
| コール表示制限 | 発信している回線または接続されている回線に対して表示する情報を、コールに関与している通話相手に応じて判別します。 | 『Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド』を参照してください。 |
| コール パーク | コールを保留にして、Cisco CallManager システムに接続している任意のユーザがそのコールを取得できるようにします。 | <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 『Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド』を参照してください。 |
| コール ピックアップ | グループ内の着信コールをピックアップします。 | <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 『Cisco CallManager システムガイド』を参照してください。 |
| コール待機 | 最初のコールを切断せずに、同じ回線上で2番目の着信コールを受信します。 | <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 『Cisco CallManager システムガイド』を参照してください。 |

電話機で使用できるテレフォニー機能

表 5-1 Cisco IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

| 機能 | 説明 | 設定の参照先 |
|---|--|---|
| 発信者 ID | 発信者の電話番号と名前を表示します。 | 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 |
| Cisco Call Back | 着信側の回線が使用可能になったときに、ユーザが Cisco IP Phone でコールバックの通知を受信できます。 | 設定手順については、『Cisco CallManager 機能およびサービスガイド』を参照してください。 |
| Cisco IP Manager Assistant (Cisco IPMA) | マネージャとそのアシスタントがより効果的に協力して作業できるようにするため、コールルーティングサービス、マネージャ用の電話機の機能拡張、およびアシスタントが主に使用するデスクトップインターフェイスを備えています。 | システム要件、インストール手順と設定手順、および使用方法については、『Cisco CallManager 機能およびサービスガイド』および『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 |
| クライアントマターコード (CMC) | コールが特定のクライアントマターに関連するように指定できます。 | 『Cisco CallManager 機能およびサービスガイド』を参照してください。 |
| 会議 | アドホック会議を開始した後、他の参加者を1人ずつ会議に参加させます。 | <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 『Cisco CallManager システムガイド』を参照してください。 |
| 設定可能なコール転送の表示 | システム管理者が、コールの転送時に電話機に表示される情報を指定できます。この情報には、発信者名、発信者番号、転送元番号、および最初のダイヤル番号を含めることができます。 | 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 |
| 直接転送 | 確立されている2つのコール(保留中または接続状態にある)を1つのコールにし、機能の開始者をコールから切断します。この機能によって、打診コールが開始されることも、アクティブなコールが保留になることもありません。 | 『Cisco CallManager システムガイド』を参照してください。 |

表 5-1 Cisco IP Phone のテレフォニー機能（続き）

| 機能 | 説明 | 設定の参照先 |
|---------------------------------|---|---|
| Forced authorization code (FAC) | 特定のユーザが発信できるコールのタイプを制御します。 | 『Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド』を参照してください。 |
| 呼出音の設定 | 電話機に別のアクティブ コールが着信した場合に回線に使用する呼出音のタイプを指定します。 | 『Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド』を参照してください。 ユーザは、Cisco CallManager ユーザ オプション Web ページで 【電話の呼び出し音設定を変更】 をクリックすることで、呼出音の設定を調節できます。 |
| 自動転送 | すべてのコールを指定された電話番号に転送します。 | 『Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド』を参照してください。 |
| グループのコールピックアップ | ユーザが、各自のグループまたは他のグループ内の着信コールをピックアップできます。 | <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド』を参照してください。 『Cisco CallManager システム ガイド』を参照してください。 |
| 保留 | アクティブなコールを保留にします。 | 設定は不要です。ただし、保留音を使用する場合は設定が必要です。詳細については、この表の「保留音」を参照してください。 |
| 即時転送 | コールをボイス メッセージ システムにすぐに転送します。コールが転送されると、回線で新しいコールの発信や受信が可能になります。 | 『Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド』を参照してください。 |

表 5-1 Cisco IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

| 機能 | 説明 | 設定の参照先 |
|---|---|---|
| 参加 | <p>[参加] ソフトキーを使用することによって、ユーザがアドホック会議を開始できるようにします。</p> <p>参加機能によって、打診コールが開始されることも、アクティブなコールが保留になることもありません。3つ以上のコールを参加させることができます。つまり、1つのコールの通話相手は4人以上になります。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • P.5-12の「ソフトキー テンプレートの設定」を参照してください。 • 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 |
| Malicious Call Identification (MCID) | ネットワークにおける着信コールの発信元の特定と登録を Cisco CallManager に要求することによって、迷惑コールを報告できます。 | 『Cisco CallManager 機能およびサービスガイド』を参照してください。 |
| Meet-Me 会議 | 他の発信者が会議に参加できるようにします。 | 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 |
| メッセージ受信 | 1つまたは複数のボイス メッセージが待機中であることを示します。 | <ul style="list-style-type: none"> • 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 • 『Cisco CallManager システムガイド』を参照してください。 |
| Multilevel Precedence and Preemption (MLPP) | 正しく検証されたユーザが、プライオリティ コールをかけられるようにします。必要に応じて、ユーザは優先順位の低いコールをプリエンプション処理できます。また、優先コールを転送するために、Call-Forward Alternate Party (CFAP) 機能を使用することもできます。 | 設定手順については、『Cisco CallManager 機能およびサービスガイド』を参照してください。 |
| 保留音 | 発信者が保留になっている間、音楽を再生します。 | 『Cisco CallManager 機能およびサービスガイド』を参照してください。 |

表 5-1 Cisco IP Phone のテレフォニー機能（続き）

| 機能 | 説明 | 設定の参照先 |
|------------------------------|---|---|
| プライバシー | 同じ回線を共有する各電話機のユーザがコールステータスの表示やコールの割り込みを実行できるかどうかを指定します。 | システム要件、設定手順、および使用方法については、『Cisco CallManager 機能およびサービスガイド』を参照してください。 |
| Quality Reporting Tool (QRT) | ユーザが、電話機の [品質] ソフトキーを使用して、問題のあるコールに関する情報を送信することができます。QRT は、QRT に必要なユーザインタラクションの量に応じて、2つのユーザモードのどちらかに設定できます。 | 『Cisco CallManager 機能およびサービスガイド』を参照してください。 |
| リダイヤル | Cisco IP Phone で最後にダイヤルされた番号をリダイヤルします。 | 設定は不要です。 |
| サービス | システム管理者が、Cisco CallManager Administration で Cisco IP Phone Services Configuration メニューを使用して、ユーザが登録できる電話サービスのリストを定義および保守することができます。 | 詳細については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』および『Cisco CallManager システムガイド』を参照してください。 |
| サービス URL ボタン | 情報サービスにワンタッチでアクセスできます。 | 設定手順については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 |
| 短縮ダイヤル | 以前保存された指定済みの電話番号をダイヤルします。 | 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 |
| Time-of-Day ルーティング | 指定されたテレフォニー機能へのアクセスを、時間帯によって制限します。 | <ul style="list-style-type: none"> 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 『Cisco CallManager システムガイド』を参照してください。 |
| 転送 | アクティブなコールを別の電話番号に転送します。 | 設定は不要です。 |

表 5-1 Cisco IP Phone のテレフォニー機能 (続き)

| 機能 | 説明 | 設定の参照先 |
|----------------|---------------------------------------|---|
| ビデオ サポート | 電話機でビデオ サポートを有効にします。 | <ul style="list-style-type: none"> • 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 • 『Cisco CallManager システム ガイド』を参照してください。 • 『Cisco VT Advantage アドミニストレーションガイド』を参照してください。 |
| ボイス メッセージ システム | コールに応答がない場合に、発信者がボイス メッセージを残せるようにします。 | <ul style="list-style-type: none"> • 『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。 • 『Cisco CallManager システム ガイド』を参照してください。 |

社内ディレクトリとパーソナル ディレクトリの設定

Cisco IP Phone 7970 シリーズのディレクトリ ボタンを使用すると、ユーザは複数のディレクトリにアクセスできます。これらのディレクトリには、次のものがあります。

- 社内ディレクトリ：ユーザが同僚の電話番号を検索できます。
この機能をサポートするには、システム管理者が企業ディレクトリを設定する必要があります。詳細については、[P.5-9](#)の「[社内ディレクトリの設定](#)」を参照してください。
- パーソナル ディレクトリ：ユーザが一組の個人用電話番号を保存できます。
この機能をサポートするには、システム管理者が、ユーザにパーソナル ディレクトリの設定ソフトウェアを提供する必要があります。詳細については、[P.5-10](#)の「[パーソナル ディレクトリの設定](#)」を参照してください。

社内ディレクトリの設定

Cisco CallManager は、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) ディレクトリを使用して、Cisco CallManager とのインターフェイスとなる Cisco CallManager アプリケーションの使用に関する認証および許可の情報を保存します。認証は、システムにアクセスするためのユーザ権限を確立します。許可は、ユーザに使用許可を与えるテレフォニー リソース（特定の内線番号など）を指定します。

これらの機能のインストールおよび設定方法については、『*Installing and Configuring the Cisco Customer Directory Configuration Plugin*』を参照してください。このマニュアルは、Cisco CallManager を Microsoft Active Directory および Netscape Directory Server と統合する設定プロセスについて説明しています。

LDAP ディレクトリの設定が完了すると、ユーザが Cisco IP Phone で社内ディレクトリ サービスを使用して、社内ディレクトリでユーザを検索できるようになります。

パーソナルディレクトリの設定

パーソナルディレクトリでは、Cisco CallManager の LDAP ディレクトリに保存されている個人アドレス帳を利用できます。また、次の機能を備えています。

- Cisco IP Phone synchronizer: ユーザが Microsoft Outlook および Outlook Express のアドレス帳エントリを Cisco CallManager のディレクトリと同期させることができます。
- Personal Address Book サービス: ユーザが電話機からエントリを検索して選択し、ソフトキーを押して選択した番号をダイヤルすることができます。

パーソナルディレクトリを設定するには、ユーザは、ユーザ オプション Web ページにアクセスする必要があります。また、Microsoft Outlook と同期させる場合、ユーザはシステム管理者から Cisco IP Phone Address Book Synchronizer ユーティリティを入手して、インストールする必要があります。

このソフトウェアを入手するには、Cisco CallManager Administration で **Application > Install Plugins** を選択し、**Cisco IP Phone Address Book Synchronizer** をクリックします。

電話ボタン テンプレートの変更

電話ボタン テンプレートを使用すると、システム管理者が回線ボタンや短縮ダイヤル ボタンに機能を割り当てることができます。

テンプレートを変更するのは、電話機をネットワークに登録する前に行うのが最適です。この順序で実行すると、登録時に Cisco CallManager から、カスタマイズされた電話ボタン テンプレート オプションにアクセスできるようになります。

電話ボタン テンプレートを変更するには、Cisco CallManager Administration で **Device > Device Settings > Phone Button Template** を選択します。電話ボタン テンプレートを電話機に割り当てするには、Cisco CallManager Administration の Phone Configuration ページにある Phone Button Template フィールドを使用します。詳細については、『Cisco CallManager アドミニストレーション ガイド』および『Cisco CallManager システム ガイド』を参照してください。

Cisco IP Phone 7970 シリーズのデフォルト テンプレートでは、ボタン 1 および 2 が回線に使用され、ボタン 3 ~ 8 が 短縮ダイヤルとして割り当てられます。その他の電話機能、たとえば、コールパーク、コール転送、リダイヤル、保留、復帰、ボイス メッセージ システム、会議などにアクセスするには、電話機のソフトキーを使用します。

ソフトキー テンプレートの設定

Cisco CallManager Administration を使用すると、Cisco IP Phone 7970 シリーズでサポートされているアプリケーションに関連付けるソフトキーを管理できます。Cisco CallManager では、標準と非標準の2種類のソフトキー テンプレートがサポートされます。標準ソフトキー テンプレートには、Standard User、Standard Feature、Standard IPMA Assistant、Standard IPMA Manager、および Standard IPMA Shared Mode Manager があります。ソフトキーをサポートするアプリケーションには、1 つまたは複数の標準ソフトキー テンプレートに関連付けることができます。標準ソフトキー テンプレートを変更するには、そのコピーを作成して新しい名前を割り当て、そのコピーしたソフトキー テンプレートを更新します。また、非標準のソフトキー テンプレートを変更することもできます。

ソフトキー テンプレートを設定するには、Cisco CallManager Administration で **Device > Device Settings > Softkey Template** を選択します。ソフトキー テンプレートを電話機に割り当てるには、Cisco CallManager Administration の Phone Configuration ページにある Softkey Template フィールドを使用します。詳細については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』および『Cisco CallManager システム ガイド』を参照してください。

サービスの設定

Cisco IP Phone のサービス ボタンを使用すると、ユーザは Cisco IP Phone サービスにアクセスできます。また、電話機のプログラマブル ボタンにサービスを割り当てることもできます（詳細については、『*Cisco IP Phone 7970 Series Guide*』を参照してください）。これらのサービスは、XML アプリケーションで構成されているため、電話機でテキストとグラフィックスを使用して対話型コンテンツを表示することができます。サービスの例には、地元の映画館の上映時間、株価情報、天気予報などがあります。

ユーザがサービスにアクセスできるようにするには、事前に次の作業を行います。

- システム管理者は、Cisco CallManager Administration を使用して、利用可能なサービスを設定する必要があります。
- ユーザは、Cisco IP Phone ユーザ オプション アプリケーションを使用して、サービスに登録する必要があります。この Web ベースのアプリケーションには、エンドユーザが IP Phone アプリケーションを制限付きで設定できるグラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) が用意されています。

サービスを設定する前に、設定するサイトの URL を収集し、ユーザが社内 IP テレフォニー ネットワークからそのサイトにアクセスできることを確認してください。

これらのサービスを設定するには、Cisco CallManager Administration で **Feature > Cisco IP Phone Services** を選択します。詳細については、『*Cisco CallManager アドミニストレーションガイド*』および『*Cisco CallManager システム ガイド*』を参照してください。

これらのサービスを設定したら、ユーザが Cisco CallManager IP Phone のユーザ オプション Web ベース アプリケーションにアクセスできることを確認してください。このアプリケーションでは、ユーザが設定済みのサービスを選択し、登録することができます。システム管理者がエンドユーザに提供する必要のある情報の要約については、[P.A-4](#) の「[ユーザがサービスに登録する方法と電話機能を設定する方法](#)」を参照してください。

Cisco CallManager へのユーザの追加

Cisco CallManager にユーザを追加すると、システム管理者は、ユーザに関する情報を表示および保守することや、次のアクションの実行をユーザに許可することができます。

- Cisco IP Phone から、社内ディレクトリやその他のカスタマイズされたディレクトリにアクセスする。
- パーソナルディレクトリを作成する。
- 短縮ダイヤル番号とコール転送番号を設定する。
- Cisco IP Phone からアクセス可能なサービスに登録する。

Cisco CallManager にユーザを追加するには、次の方法のいずれかを使用します。

- ユーザを個別に追加するには、Cisco CallManager Administration から **User > Add a New User** を選択します。

ユーザの追加方法の詳細については、『*Cisco CallManager アドミニストレーションガイド*』を参照してください。ユーザ情報の詳細については、『*Cisco CallManager システムガイド*』を参照してください。

- ユーザを一括して追加するには、**Bulk Administration Tool** を使用します。この方法では、すべてのユーザに共通のデフォルトパスワードを設定することもできます。

詳細については、『*Bulk Administration Tool User Guide for Cisco CallManager*』を参照してください。

ユーザ オプション Web ページに表示されるオプションの指定

ユーザ オプション Web ページでは、ユーザは電話機の機能と設定の一部をカスタマイズおよび制御できます(ユーザ オプション Web ページの詳細については、『*Web* での *Cisco IP Phone* のカスタマイズ』を参照してください)。

デフォルトでは、ユーザ オプション Web ページにはオプションがすべて表示されます。ただし、Cisco CallManager Administration を使用して適切なエンタープライズパラメータを設定すると、オプションを削除できます。

設定は、サイトにあるすべてのユーザ オプション Web ページに反映されます。

特定のオプションをユーザ オプション Web ページに表示するかどうかを指定するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 Cisco CallManager Administration で、**System > Enterprise Parameters** を選択します。

Enterprise Parameters Configuration ページが表示されます。

ステップ 2 CCMUser Parameters 領域で、各パラメータ値のドロップダウン リストから次の値のどちらかを選択して、そのパラメータをユーザ オプション Web ページに表示するかどうかを指定します。

True: オプションはユーザ オプション Web ページに表示されます(デフォルト)。

False : オプションはユーザ オプション Web ページに表示されません。

■ ユーザ オプション Web ページに表示されるオプションの指定